

第九回 衆議院船舶職員法案委員會速記録

(第四號)

(一〇四)

明治二十九年三月十六日午後零時五十七分開議

○委員長(西山志澄君) 船舶職員法案ニ移リマス

○(宮崎榮治君) 私ハ此案ノ全体ニ就イテハ意見ハゴザイマセヌガ、十四條ノ次ヘ今一條ヲ加ヘタイト云フ意見デゴザイマス、是ハ「十五條遞信大臣ハ第一號表中近海航船ニシテ登簿噸數五百噸未満ノ汽船及沿海航船ニシテ登簿噸數二百噸以上ノ汽船ニハ此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年ヲ限リ二等機關士ノ昇狀ヲ有スル者ニ機關長ノ職ヲ執ラシメ又一等機關士ヲ乗組マシメサルコトヲ得」ト斯様ナ條項ヲ設ケタイト思ヒマス、ソレヲ設ケマスルモノハ先日段段政府委員ニ就イテ御尋致シテ見マシテモ、内國人バカリデ免狀ヲ有シテ居リマスルモノヲ、現在ノ船數並ニ將來増加スベキ船數ニ割リ當テ、見マスレバ、實際職員トナルベキモノガ乏シイト云フコトヲ政府委員自ラモ言ハレテ居リマスルノデ、此不足ノ者ハ外國人ヲ當籍メマスレバ備ハリマスデアリマセウケレドモ、我邦ノ法律ヲ作ル上ニ於テ、内國人デツレガ間ニ合ハナイト云フコトヲ知リツ、斯様ナル法律ヲ設ケマスルノハ甚ダ苛酷過ギルコトデアラウト思ヒマス、就キマシテハ斯様ナ取除ケ法ヲ設ケテ居リマスレバ、其後ニ至リマシテハ、當期ノ議會ニ於キマシテモ商船學校ノ擴張ヲ計ツタコトモゴザイマスカラ、ソレ等ノ卒業生モ漸々増加致シマスルデゴザイマセウ、又相當ノ試験ヲ受ケマシテ免狀ヲ得マスルモノモ、追々増加致シマスルデアラウト思ヒマスカラ、此法律ニ一ノ取除ケ法ヲ設ケテ置キタイト思ヒマス、其他ノ箇條ニ於キマシテハ、政府ノ提出案、貴族院ニ於テ審査ヲ加ヘラレテあちらこちらニ修正ノ箇條モゴザイマスルノハ、至極相當ナルコト、思ヒマス、是ハ實ニ貴族院ノ修正ノ全部ヲ贊成致シタ譯デアリマス、尤モ此第十五條ヲ加ヘマスルコトモ、實際ニ於テ差支ノナイモノデアリマスレバ、折角貴族院ヲ通過致シテ參ツタモノデアリマスカラ、一條トテモ増加致シタクナイコトハ無論デアリマスケレドモ、今日ノ場合ニ於キマシテハ、此取除ケノ如キハ實際已ムヲ得ヌコト、思ヒマスカラ、修正意見ヲ提出致シマス

○(石塚重平君) 私ハ宮崎君ノ動議ニ贊成致シマス、ソレデ此案丈ヲ加ヘルカ加ヘヌカト云フコトハ、他ニ關係ヲ及ボスモノデアリマスカラ、願クハ此條ヲ加ヘルト云フコトニ付イテ、第一ニ決議ヲ採ツテサウシテ此成立如何ニ依ツテ願ヒタイト思ヒマス故ニ此事ヲ一應……

○(阪田昌熾君) 私ハ第四條ノ「船舶職員ノ定員及其ノ免狀ノ種類ハ第一號表ニ依ル」ト云フ、此條ニ付イテ修正ヲ加ヘタイノデアリマス、是ハ此沿海航船ニアル所ノ「二百噸」トアルノヲ「五百噸」トアルノヲ「二百噸」ト修正致スノデアリマス、初メノ「百噸未満」ト云フ「百」ノ字ノ上ニ「二」ノ字ヲ加ヘ「二百噸未満」次ニ「二百噸未満」トアルノヲ「五百噸未満」ト直シ、サ

ウシテ其下ニ「船長機關長」トアル彼ノ間ニ「一等運轉士」ト云フ名稱ヲ加ヘ、サウシテ其下ノ免狀種類ニ就イテ「乙種二等運轉士」ト云フコトヲ加ヘタイノデアリマス、ソレカラ其次ニ「二百噸以上」トアルノヲ「五百噸以上」ト斯ウ修正ヲ致シタイ、其理由ハ今宮崎君ガ述べラレタノト殆ンド理由ハ同ジデアリマスガ、別ニ條項ヲ加ヘルヨリハ此一條丈ケヲ改正シテ置ク方ガ宜シイト、是ハ今管船ノ益、發達スル場合デアルカラ、是ハ二三年經ツト又修正ヲ加ヘナケレバナラヌ場合ガアルカラ、唯一條丈ヲ改メテ置イテ、又改メルコトノ必要ガアツタラ、其時ニ此法案ヲ改メテ宜イカラ、茲デハ是丈ヲ改メタイト云フ譯ノ主意デアリマス

○(橋本久太郎君) 阪田君ノ辯論ニ至極御同感デ、私モ其邊ノ修正ニ贊成致シマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 宮崎君ノ御動議ニ對シマシテハ、先日來申述テ置キマシタ通りニ、政府委員ハ人ヲ供給スル懸念ヲ持タヌデアリマス、此法律ガ施行ニナリマスルト、ソレ丈ノモノヲ養成スルコトガ出來ル見込デアルノデアリマスガ、ソレハ見込ニ過ギナイコトデアツテ、宮崎君ノ御考ノ通りニドウシテモ懸念デアルト云フコトデアルナラバ、一年ノ間猶豫スルコト云フコトニ就イテハ同意ト云フ譯デアリマセヌガ、是モ御見込ナレバ多數ノ御決議デアル以上ハ致シ方ガナイノデアリマス、二百噸ヲ五百噸トスルト云フコトニ就イテハ、全然御斷リシナケレハナラヌ、沿海航船ニサウ云フ大キナモノハ實際要ラナイノデアアル、又出來タ所ガ何レツレ程大キナモノナラバ無論、是丈ノ人ヲ載セナケレバナラヌノデアアルカラシテ、是ハ矢張舊慣ニ依ツテ二百噸内外デ區別ニナツテ少シモ間ヘナイ、又サウシテ貫ハナケレバ懸念ニ堪ヘヌデアリマス、是ハ御斷ヲシテ置キマス

○(宮崎榮治君) 一寸阪田サンニ伺ヒマスガ、ドウ云フモノデゴザイマセウカ、今現在ノ船ニ就イテ此間中政府委員ニ御尋致シテ見マシタ所デハ、百噸未満ガ百八十一艘、二百噸未満ガ三十艘、二百噸以上ガ八艘、此八艘ノ中デ三百噸以上ノモノハ僅ニ一艘アルト云フ政府委員ノ御答辯デアツタデゴザイマスガ、此三百噸以上ト云フモノハ、五百噸未満デアルカ、又五百噸以上ニ上ルカ知リマセヌガ、三百噸以上ト云フ所カラ考ヘマスルト、五百噸ニナルモノハ無カラウカトモ考ヘマス、將來ノタメニ五百噸以上ニモシテ置カナケレバナラヌト云フノハ、ドウ云フ御精神デゴザイマセウカ、又現在サウシナケレバ、何カ差支ヘル譯ガアルノデゴザイマセウカ、一應伺ツテ置キマス

○(阪田昌熾君) 五百噸ト申シマスルノハ、ソレハ今日遠洋航船デモ三百噸以上ト書イテアリマスガ、是ハ一艘モサウ云フ船ガアルノデハナイ、一艘モナイノニ斯ウ云フモノヲ書イテアルノハ、斯ウ云フモノガ出來ルカ知ラント

云フ豫備ニ書イテアル、ソレト同シ筆法デ、沿海航船デ云フト五百噸以上ノ船ハ、今日一二艘アル、私ノ認ムル所デハ四五艘モアル、今大阪商船學校、商船會社ニ五百噸以上ノ船ガアルノデアリマス、重ニ沿海航船ト云フモノハ大阪ノ川口ヘ鹽ガ引イタトキニ通レル丈ニ拵ヘルノデ、何ソボ大キイ船デモ拵ヘルト云フ必要ハナイ、其處ヲ通レル位ニ拵ヘレバ宜イト云フ譯ガアルノデアリマスカラ、五百噸位ナラ出來ルト思ヒマス、大阪ノ川口ヲ少シ堀リマシタラ、マダ大キナ船ガドンドン運入レルヤウニナルノデス、サウスルトマダ大キナ船ガ出來ル、丁度大阪邊ニアルノデサヘ淺瀬一杯ニ出來テ居ル、香港廣東ニ往ク船デモ、アスコノ洲一杯ニ出來テ居ルノデアリマス

○(天竺伊左衛門君) 私ハ少シ修正ヲ致シマス、第一條ノ二項デアリマス之ヲ削除スル、第二條ヲ貴族院デ海技免狀ヲ有スル者ト修正ニナリマシタガ、之ヲ原案ノ如ク復活スル、第三條モ原案ノ如ク復活スル、第三條ニ運轉士若クハ機關士ト云フコトガゴザイマス、之ヲ現行規則ノ通りニ手ト云フ「手」ノ字ニ改メマス、機關長ト云フノヲ削除スル、五條以下各條總テ貴族院ニ於テ海技ト修正ヲ致シマシタコトハ、船舶職員ト原案ノ通り復活ヲ致シマス、別ニ深イ理由ハゴザイマセヌガ、名ヲ美ニスルト云フコトモ宜シウゴザイマセヌガ、從來唱ヘ來ツタ儘ニシタイト云フ説ニゴザイマス、第一條ノ二項ヲ削除致シマシタノハ、船舶職員懲戒法ノ上ニ於テ、貴族院デモ修正ヲ加ヘテ「海技免狀ヲ受有スル者其職務ヲ行フニ當リ」云々ト致シマシタ、矢張此十四條ノ第一號表ノ海技免狀ヲ受有シテ居ルモノハ、悉ク此職員法ノ中ニ當嵌メルト云フコトニナツテ居ル、私モ其意ニ外ナラヌデ、茲ニ特ニ船舶職員ト稱スルモノヲ割キテ、職員ノ中ヨリ割キテ之ヲ稱ヘルト云フコトヲ存スルハ、事實ノ上ニ於テ當ラヌト思ヒマス、ソレカラ機關長ヲ削除致シマシタノハ、既ニ曩キニモ申シマシタル通り、從前ニハ此機關長ト云フモノガナカツタノデ、殊更ニ茲ニ機關長ト云フモノヲ設ケルノ必要ハ認メマセヌ、一体此現在ノ汽船帆船等ノ有様ヲ見マスルト云フト、一船ノ中ハ一家ノ如キ有様デナケレハナラヌ、然ルニ機關手ト水夫トハ自ラ食事等モ分ツテアツテ、現在ノ有様カラ申シマスルト云フト、職員ノ方ガ不足勝ニナツテ居ルノデアリマスデ、此運轉手、機關手等ガ船主若クハ船長ニ對シテハ、人ガ足ラナイト云フ所カラ權力ガ強イ、一方ヲ言ツテ見レバ、機關手ト云フモノハ船長ノ命令ニ服從シナイ、機關手ナドハ自分ガ責任ヲ有ツテ這ツテ居ルケレドモ、ソレ等ニ對シテ或ハ修繕ヲ加ヘルトカ、若クハ検査ヲ受ケルトカ云フコトニ就キマシテモ、萬事船長ト相談ヲシテヤツテ往クヤウニナツテ居ルト宜イケレドモ、決シテサウデナクシテ、殊ニ此戰争後ニ於テハ、餘程機關手ノ給料ガ高クナツテ二倍、三倍ニナツテ居ル有様デアリマス、人ニ不足ヲ告ゲテ居ルカラサウナルノデアリマセウガ、此一船ノ中ノ和合ト云フモノヲ缺イテ居ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ有様ニナツテ居ル所ヘ持ツテ來テ、殊更ニ今迄ノ一等機關手デ足ルモノヲ、茲ニ機關長ト云フモノヲ設ケテサウシテ名ヲ美ニ致シ

マスルト云フト、免角斯ウ云フ人々ハ相當ノ教育ヲ受ケテ居ルトハ言ナガラ、餘程氣ノ暴イモノデアツテ、海員ナドニ於キマシテハ……故ニ徒ニ權利ノ爭ヲ生ジテ來テ、遂ニ一船ノ和合ヲ缺クト云フコトニナツテ來マス、既ニ政府ニ於テモ此名稱ニ就イテハ、名ヲ美ニシテサウシテ責任ヲ盡スト云フコトニサセタイト云フ考ヲ以テ、原案ヲ編成シタト云フ御説明デゴザイマスケレドモ、爲スベキ職務ト云フモノハ爲スガ當然ノコトデアツテ、名ヲ美ニシテマデモ此責任ヲ重ンズルヤウニスルト云フコトノ必要ハ、私ニ於テハ決シテ感シマセヌ故ニ、以上述べマシタル通りニ修正ヲ致シマス、ソレカラ十四條ノ第一號表ニ於キマシテハ、是ハ阪田君ノ説ニ同意デアリマス

○(南島間作君) 私ハ第一條ノ第一項ハ原案デ宜シイト思ヒマス、ソレカラ唯天竺君ノ御説モゴザイマシテ、職務權限上ノ衝突ガ船内ニ起ルト云フ御心配デアリマシタケレドモ、ソレハ一体或場合ニサウ云フコトガナイトモ計ルベカラザルコトデアリマスケレドモ、其場合ニ至ツテハ何レ其歸著スル所ガ極ツテ居リマスカラ、船長若クハ船主其者ガ宜シク其船内ニ衝突ノ起ラヌヤウニ是ヲ組織シ、且ツ任免黜陟ノ權限ヲ應用シテ、自分ノ利益ヲ満足スルヤウニ努メルモノデアルカラシテ、此本條ハ此原案デ宜イト思ヒマス

○(石塚重平君) 別ニ論ズルマデモアリマセヌガ、此貴族院ノ修正ニ對シテハ、私ハ天竺君ノヤウナ考ヲ持ツテ、ソレデ其修正ニナツタ理由ヲ政府委員ニ御尋申シタトキニ、此免狀ヲ有スルモノハ果シテ此船舶ノ職員ト皆ナルベキモノデナイ、或ハ陸ニアツテ器械ノコトヲ司ルトカナントカ云フモノモアルカラ、茲ニ於テ船舶職員トスルハ甚ダ宜シクナイ、其區別ヲ明カニスルニハ、從前ニアツタ文字デアアルカラ海員トスル、海員ト云フハ船舶ノミニ限ツタモノデ、此區別ヲ判然トスルト云フコトニ就イテハ、誠ニ適當ナ修正デアルト考ヘル故ニ、此名稱ハ新シイト云フ御論ノヤウデアリマスケレドモ、是迄ノ例ニ依ツテ此名稱ハアルモノデアリマスカラ、サウシテ此區別ハ船舶ノ職員トナルベキモノニ船舶職員ト云フ文字ヲ存シテ置ク、一般ニ海員ト稱サナケレバナラヌト云フ所ダケヲ海員トシタ、或ハ從前ノ名稱ニ依ツテ海員トナツテ居ルモノモアル、此事ハ區別ヲ明カニスルコトニ於テ、相當ナコトト思ヒマスカラ、天竺君ニ反對ヲ致シマス、先ヅ成ルベクハ始メテ當院ニ出タ案デアリマスカラ、又既ニ時日モ切迫ヲ致シタ今日ニ當ツテ、格別ナ差支ノナイ限りハ、成ルベク此案ヲ通過セシメテ發布セシムル手續ニシヤウト考ヘルノニハ、格別ノ障リノナイ所ハ、貴族院ノ修正ヲ本院ニ於テ容レテモ差支ナイ、又容レル方ガ宜カラウト思ヒマス、私ニ於テハ此貴族院ノ修正ヲ容レルト云フ考デアリマス、ソコデ此先刻モ申述べマシタ如クニ、此宮崎君ノ提出ニナツテ居ル一條ヲ插入スルト云フコトニ就イテハ、成立スルトシナイトニ就イテハ分リマセヌガ、私ハ御同意ヲスルモノデアリマスガ故ニ、第一ニ十五條ニ就イテ御決定ニナツテ、其後ハ合セテ御採決ニナリタイ

○(阪田昌熾君) 政府委員ハ過日貴族院デ内藤さんカノ御問ニ對シテ、機關

長ハ船ヲ支配スル船長ニ對シテ、機關部ヲ支配スル故ニ、機關長トスルト云フヤウナ御答ガアツタヤウニ覺ヘテ居リマスガ、果シテサウデアリマスカ
○政府委員(佐藤秀顯君) デハナイノデアリマス、機關長ト云フノハ、現ニ海軍デモ艦長ノ下ニ機關長モアレバ主計長モアル、又事務長ハ從前ニ於テモ西洋形船ガアツテ以來、今日迄引續イテ唱ヘテ居ルモノデアリマスカラ、船長ハ全船ノ指揮官デアル、機關長ハ機關一部ノ長デアアル、局長ノ下ニ課長ガアルト同ジト云フ意味デ答タコトガアリマス

○(阪田昌熾君) ちねーらいんじにやト云フタメ機關長トスルナレバ、ちいーふめーと一等運轉士ト云フヨリモ、運轉長ト云フガ適當デアアル、一等ノ運轉士ヲ運轉長トスルト機關長ト鈞合宜クナツテ來ルト思フ、如何デスカ
○政府委員(佐藤秀顯君) 今ノハ御説ト考ヘマスカラ、別ニ御答ヲスル限リデハアリマスマイガ、其間モ貴族院デアツタノデアリマスガ、運轉長ハ即チ船長デアアルカラ、船長ト運轉長トノ關係ト、機關長ト船長ノ關係トハ多少ノ違ヒガアル、ソレデ運轉長ハ矢張一等運轉士ニシテ置イテ、機關長ハ機關長ニシタノデアルト、政府委員ハ答ヘテ置キマシタ、ソレ丈申述テ置キマス

○(櫻井義起君) 本會ノ時間モ迫ツテ參リマシタカラ、次ニナツテ御確定ニナルナラバ、ドウカ速ク御採決ヲ願ヒタイ
○委員長(西山志澄君) 御相談致シマスガ、石塚君カラ宮崎君ノ修正説ヲ先キニ採決ヲシテ貰イタイト云フ動議ガゴザイマス、發言ノ順序ハ宮崎君ガ無論先キデゴザイマスガ、條項ノ順序ハ別デゴザイマスカラドウデスカ
○(宮崎榮治君) 先刻石塚サンノ御氣遣ヒハ、第十五條ト一號表トノ關係ト思ヒマスガ

○(石塚重平君) 十四條ノ一號表、コ、ニ議論ガアルノデス
○(宮崎榮治君) 然ラバ表丈ハ後トデ採ルト云フヤウニシタラドウデス
○(石塚重平君) 御差支ナクバ私ノ請求通りニシテ願ヒタイト思ヒマスガ
○委員長(西山志澄君) 御異論ガアレバ仕方ハナイガ、詰リ確定議ノ時ニサウ云フ都合ハ如何デスカ、順序ヲ繰リ合シテ往クノデスカラ——順ニ採ツテ往ツテ構ハヌト思ヒマスガ、ドンナモノデアリマセウカ

○(橋本久太郎君) 本員ハ會長ノ御考ノ通りデどつちデモ宜シイト思ヒマス
○委員長(西山志澄君) ソレナラバ採決致シマスルガ、天竺君ノ第一條ノ第二項ニ對スル御説ハ、諸君御承知ノ通り之ヲ先キヘ採リマス、是レニ御同意ノ御方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ
○委員長(西山志澄君) 少數デゴザイマスカラ消滅致シマス、尙ホ天竺君ノ第二條ノ修正説ガゴザイマス、是モ即チ諸君ノ御承知ノ通り、是レニ御同意ノ御方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

○委員長(西山志澄君) 少數デゴザイマスカラ消滅致シマス、ソレカラ第三

條ニ未ダ天竺サンノ修正説ガアリマスナ

○政府委員(佐藤秀顯君) 委員長……
○委員長(西山志澄君) 佐藤君ニ御相談シマスガ、御議論デアリマスカ
○政府委員(佐藤秀顯君) 一寸伺ヒマスガ、一條ノ一等運轉士、機關士ト云フノガ原案通りニナリマシタガ、ソレデモ矢張三條ノ「士」ヲ「手」トスルノ説ガ殘ツテ居ルノデスカ

○(天竺伊左衛門君) 殘ツテ居ルノデス
○委員長(西山志澄君) 天竺君ノ御説ハ、「運轉士」ヲ「運轉手」トナシ、機關士ヲ「機關手」トナシ、機關長ヲ廢スルト云フ……
○(阪田昌熾君) 機關長ヲ廢スルト云フノハ別ニ採決ヲ願ヒタイ
○委員長(西山志澄君) 然ラバ運轉士、機關士ヲ「運轉手」「機關手」トスル修正ニ御意ノ方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

○委員長(西山志澄君) 少數デスカラ消滅致シマス、ソレカラ機關長ヲ廢スルト云フ説ニ同意ノ方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ
○委員長(西山志澄君) 四名
○(天竺伊左衛門君) 唯今宮崎君ノ反對ニ就イテ舉手ヲ御採リニナリマシタガ、サウ致シマスルト云フト、反對者ハ自カラ原案賛成ト云フ風ニナツテ參リマス、ドウシテモ此場合ニ於テモウ一ツアルナラバ阪田君ノ説ヲ舉手ニ御採リニナツテ、尙ホソレデモ正半數デアツタナラバ、委員長ガ採決ナサルト言フヨリ他ニ道ガナカラウト思ヒマス

○委員長(西山志澄君) ソレデハ委員長ガ何レカニ同意ヲ表シマス、委員長ハ宮崎君ニ御同意ヲ致シマス、宮崎君ノ御説ニ決シマス、サウスルト次ハ阪田君ノ御修正ノ決ヲ採ツテ見マス
○(阿部興人君) 此場合ニ申上ゲルノハ如何デゴザリマスケレドモ、先刻阪田サンノ御説ニ、宮崎君ノト精神ハ一デアルト云フヤウナ御話デゴザリマシタケレドモ、是ハ根底ヲ異ニシテ居ルト思ヒマス、宮崎君ノハ此人員ヲ乘組ズノハ不當デアアルガ、唯乘込マズニ當ツテ不足ヲ感ズルカラ、彼ノ動議ヲ出サレタノデアアル、阪田君ノハ此沿海航船ニ於テハ先ツ今日ノ所テハ其人數ヲ殖スニ及ハナイ、斯ウ云フ精神カラ來テ居ルノデス、人ノ有無ヲ問フト云

フコトハ、唯其中ノ一ノ含ミニナツテ居リマセウガ、人ノ有無ニ拘ラズ百噸未滿ヲ二百噸未滿ニシテ差支ナイ、斯ウ云フ御論ノ根底ダラウト思ヒマス、私ハ阪田サンニ御賛成申シマスガ、其趣意ニアル根底ガ違フト云フコトヲ申上ゲマスノハ、私ノ賛成致シマスノハ其趣意カラ賛成スルト云フコトヲ補ツテ置カウト存ジマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 先刻來申述べマス通りニ、此百噸未滿、二百噸以上ト云フモノハ、今日ノ現行法ニ比スレバ既ニ業ニ大キクナツテ居ルノデ、五百噸内外デ制限ヲスルト云フヤウナコト決シテ近キ將來ニモナイノデアリマス、誠ニ不必要ナコトデアツテ、現行ニ反スルコトガ大デアリマスカラ、本員ハ全然御斷ヲ申サナケレバナラヌデス

(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○委員長(西山志澄君) 阪田君ノ御説ニ御同意ノ御方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 四名

○委員長(西山志澄君) 四名デス、是ニ反對ノ方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 四名

○委員長(西山志澄君) 四名デゴザリマス、是モ矢張委員長ノ意思ヲ御告ゲ申シマスガ、委員長ニ於キマシテモ多少疑ガナイトハ申サレマセヌガ、併ナガラ議事モモウ大層マダ撻取ツタト云フデアリマセヌシ、日數モ多クナイ今日ノコトナリ、又宮崎君ノ修正ノ御意見ノ出マシタ限リハ、是ヲ實行スルニ於テモ餘地ノアルコトデモアリ、旁々阪田君ノ説ニハ反對ヲ致シマス、故ニ阪田君ノ説ハ消滅致シマシタ——モウ全體ニ對シテ御異論ガナケレバ、確定議ト認メテ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(西山志澄君) 然ラバ確定議ヲ報ジマス、引續イテ船舶職員懲戒法案ノ議ニ掛リマス

○(石塚重平君) 是ハ全体ニ就イテ私ハ異議ガアリマセヌ、貴族院ノ修正ヲ可ト認メマス

○委員長(西山志澄君) 格別御異議ガゴザイマセヌト思ヒマスカラ、讀會ヲ省キマシテ確定議ヲ執リマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○委員長(西山志澄君) 御異議ガナイト認メマスカラ確定ヲ致シマス——是デ散會シマス

午後一時四十分散會